

ご挨拶

このたび第38回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会会長を務めさせていただくことになりました。本年次学術集会は、前回の弘前開催からさらに北上し、初めて津軽海峡を越え、2025年3月28日(金)、29日(土)の2日間、ニューオータニイン札幌において開催させていただきます。歴史ある本学会の年次学術集会を担当させていただくことを大変光栄に存じます。

本学会は、前身である「糖尿病動物研究会」の第1回学術集会が1987年に開催されて以来、多くの先生方のご尽力により発展を遂げ、2007年には「日本糖尿病・肥満動物学会」として、充実した活動を続けてきました。さらに2023年に開催された第36回年次学術集会から日本糖尿病学会の分科会となり、糖尿病学会とより緊密に連携し、さらなる活性化が期待されます。

今回は、特別講演として益崎裕章先生（琉球大学 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座）にお越しいたします。その他、シンポジウム、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、情報交換会などを企画しております。シンポジウムとしては、動物研究の成果をもとに臨床応用に至った薬剤開発に関するテーマを考えております。ランチョンセミナー・イブニングセミナーでは糖尿病・肥満の基礎と臨床の最新の知見に関する講演を用意する予定です。また、会長特別企画として、全国の糖尿病・肥満領域を専門とする各研究室の特徴やアピールポイントなどを紹介していただく「突撃！日本全国研究室訪問の旅」を検討しております。

毎年、年次学術集会には、全国から糖尿病・肥満分野のスペシャリストが一堂に集い、活発な議論を行っています。特に、若手研究奨励賞の審査口演には、多くの大学院生・研究者が応募し、大変レベルの高い発表やディスカッションを行っています。若手研究者がフランクに交流を深めることができる場を提供するのも、本年次学術集会の特徴の一つであります。

3月の札幌は、まだまだ寒い日もありますが、少しずつ雪が解けてきて、春の息吹の期待が高まる時期です。ぜひ皆様に御参加いただき、ホットな議論と温かい交流を深めて、同時に北海道を満喫していただければと思います。

2024年4月吉日

第38回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会

会長 中村 昭伸

北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室